

緑のセンターだより



No.135

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター（相談所）
〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel：0166-65-5553 Fax：0166-65-5626
旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行：平成24年4月1日



講習会のご案内（お申込み・受付は前月の20日から）

「観葉植物の植替え、鉢替え」-シヅカ、ゴムノキなど-

とき 平成24年4月15日（日）1人3鉢まで
午後1：30～3：30 定員20名 **実費**
講師 相談員

「洋ラン植替え実習」-シンビジウム-1人2鉢まで

とき 平成24年4月21日（土） **実費**
午後1：30～3：30 定員20名
講師 旭川蘭友会会長 谷口忠一さん

「洋ラン植替え実習」-コチョウランなど-1人2鉢まで

とき 平成24年4月22日（日） **実費**
午後1：30～3：30 定員20名
講師 旭川蘭友会会長 谷口忠一さん

「土と肥料の基礎知識」-ガーデニングの土づくりほか-

とき 平成24年5月13日（日）
午後1：30～3：30 定員50名
講師 相談員

「ミニ盆栽を作ろう」教材費 ¥1,000

とき 平成24年5月20日（日）
午後1：30～3：30 定員20名
講師 旭川ミニ盆栽愛好会会長 長谷川八郎さん

「山野草の寄せ植えづくり」教材費 ¥1,500

とき 平成24年6月3日（日）
午後1：30～3：30 定員20名
講師 北海道山草趣味の会 森下光晴さん



展示会のご案内（初日は午後から、最終日は4時まで）

「野の花写真展」4月7日～30日 「洋ラン展」4月20日～22日

出展：神田亘雄さん

出展：旭川蘭友会

「ミニ盆栽展」5月18日～20日

出展：旭川ミニ盆栽愛好会

「サツキ展」6月1日～3日

出展：旭川サツキ会

「山草展」6月1日～3日

出展：北海道山草趣味の会

【休館日のご案内】

4月～10月は第2・第4月曜日が休館日です（祝日の場合は翌日）
11月～3月は毎週月曜日が休館日です（ " " ）

☆サツキの育て方相談

6月1日～3日

初日：午後1時～

最終日：午後3時まで

受講生募集！ 「植物を育てる基礎コース講座」

回	内 容	開催日	曜	備 考
第1回	土と肥料の基礎知識 (ガーディニングの土づくりほか)	5月13日	日	無料
第2回	土づくり実習と寄植え体験 (教材費 実費)	6月16日	土	500円
第3回	植物の病気と害虫、農薬の正しい使い方	7月8日	日	無料
第4回	腐葉土づくりの講習と実習	10月21日	日	無料
第5回	植物を育てよう (春作業・花の栽培管理と育苗)	3月3日	日	無料
第6回	花と野菜の種まき実習 (教材費 実費)	3月24日	日	200円

※目 的・・・講義や実習を通じて自然の仕組みや生命のつながりを理解していただくとともに、自然環境を考えた園芸の手法を学んでいただき、講座で身に付けた知識と技術を活用して、地域の花とまちづくり活動者を育成することを目的としています。

対 象・・・花と緑にかかわる活動に興味をお持ちの方

定 員・・・20名

申込受付・・・平成24年4月20日（金）から5月10日（木）まで

緑の相談 QアンドA (9)

ゴムノキが大きくなりすぎました。小さくしたいのですが、どのようにしたらよいですか。

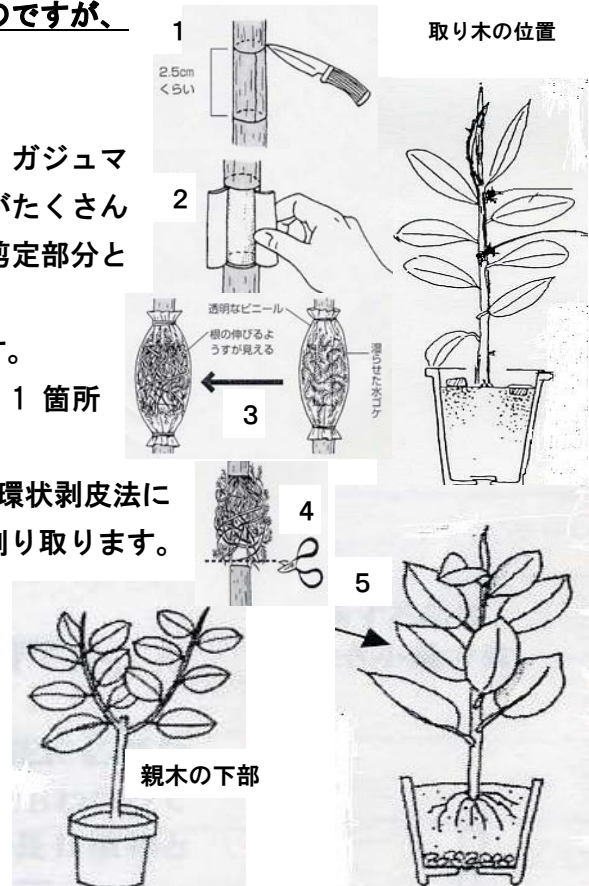
インドゴムノキ、デコラゴムノキ、ベンジャミナ、ガジュマルなどの観葉植物は、幹が伸び過ぎて困っている方がたくさんいます。このような場合は一般的には取り木をして剪定部分と親木の両方を育てる方法が良いと思います。

取り木の時期は初夏の暖かくなってからが最適です。

草丈が2メートル位にも大きくなっている場合は、1箇所だけでなく2～3箇所くらいの取り木ができます。

取り木の方法は図のように取り木の位置を決めて、環状剥皮法により繊維を残さないで、2～3センチ位の幅で皮を削り取ります。ここに湿らしたミズゴケを巻いて、ビニールで包みます（発根途中に乾かさなことがコツです）。

2～3ヶ月してビニールの上から根が見えてきます。根がたくさん出てから切断して鉢植えしてください。また、本体の方には葉の付け根から側芽が出てきますので、過湿で根腐れしないように気をつけて育ててください。



西洋シャクナゲ

ツツジ科ツツジ属ロードデンドロン亜属

華やかな花色と豪華な花形から「花木の女王」と言われています。シャクナゲの仲間には約 1,000 種の実種があると言われ、主に北半球に分布しています。ヒマラヤのシャクナゲがヨーロッパに渡り、イギリスで品種改良が行われ、西洋シャクナゲと呼ばれて、世界各国で庭木、鉢花として親しまれるようになりました。

わが国には日本シャクナゲが自生していますが、高山植物としての性質が強く暖地や平地での栽培が難しいと言われています。この自生種の良いところ(わい性、枝の出方、葉の形質)を取り入れた日本シャクナゲとの交配品種が多く流通しています。

・ 品種の選び方

ヨーロッパでは数千の品種とされていますが、国内では西洋シャクナゲとして数百の品種が出回っているそうです。

花色はもちろん花つきや枝ぶり、葉などが選ぶときの基本ですが、旭川ではこのほか露地植えにする場合の耐寒性が大きな問題です。

園芸店で越冬性を確認したり、越冬の実例品種を購入してください。



※ 比較的寒さに強いと言われる品種です。

品 種 名	花色・花形
ベティ・ワーマールド	淡桃色
クリスマス・チアー	淡桃色から白色に変化
ファストオスム・プレナム	ラベンダー色、八重咲き
パープル・スプレnder	紫紅色
ピーター・コスター	淡藤色
プリンス・ロハン	紅紫色
スカーレット・ワンダー	鮮紅色・矮性種

・ 栽培のポイント

冷涼な気候を好む品種が多いため高温と多湿に弱く、根は浅根性で土の浅いところに張っているため乾燥にも弱い。また、ツツジ類と同じく酸性土を好みます。

旭川の屋外栽培では、開花させるのにやや難しいところがあります。

・ 開花しくみ

開花後、花の下部の節から新枝が出て、互生する葉を展開しながら生長を続けて夏の高温と日照で花芽分化します。その後低温により花蕾は休眠します。これが冬季間の一定の低温で休眠が破れ、その後春の高温で開花すると言われています。

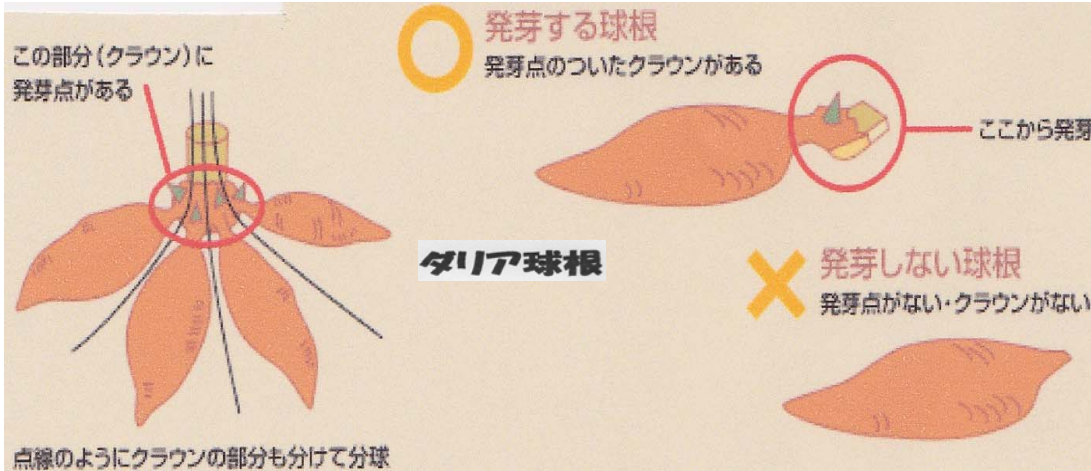
ダリアの分球・植付け

分球

新芽のふくらみを確認して、切り分けを行います。貯蔵温度が高くて、芽の伸び過ぎているものはつけ根付近で切り取り、わきにある芽を育てる様にします。確認できないものは、球根（塊根）を暖かい場所に移し、芽だしをして切り分け作業をしましょう。

ダリアは、茎だったところ（クラウン）に芽が出る部分（発芽点）があるので、必ずクラウンをつけて切り分けます。手順は球根の土を落とし、大きく2等分し更に細かく分けるようにします。球根の首や新芽を傷つけない様注意しましょう。

球根を増やす必要もない場合は、掘り上げたままの状態でもよいでしょう。



催芽処理



催芽処理

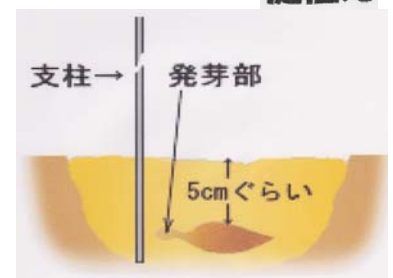
早くから花を咲かせ、観賞期間を長くしたい場合は、芽を成長させて（催芽処理）植付ける方法があります。分球した球根を土を入れたプランターやトレイに浅く植え、室内の日の当たる暖かい場所（20℃位）に置きます。用土や球根は霧吹き等で乾燥しない様に湿らせておきます。

植付け

霜の心配がなくなったら植付けを行います。ダリアは次々と開花し生長するので肥料も多く必要とします。

遅くとも植え付け 10 日前迄には深さ 25~30 cm 位は耕起し堆肥や元肥を施用しておきます。球根は斜めにし、芽の出る場所が地面下 5 cm 位の深さになるよう覆土します。

庭植え



展示室の植物(42)

フィカス・ベンジャミナ（ベンジャミン）

クワ科フィカス属

インド、東南アジア原産の常緑性高木。自生地では、樹高 20m にもなります。若木は幹がしなやかで曲げやすく、刈込にも強いので三つ編み等、色々な形に仕立てることが出来ます。

よく分枝し、枝から気根を伸ばし支柱根をつくります。葉がライム色になる「ゴールド・ラッシュ」や、乳白色の斑が入る「スター・ライト」などの園芸品種があります。